# 1.業績概要



## MFG 平成24年度中間決算の概要(連結・3行単体合算)

- ◆貸出債権の証券化に伴い譲渡益を計上したことを主因として、コア業務純益は前年同期比22億円増加。
- ◆加えて、与信関係費用の減少などにより、中間純利益は<mark>前年同期比34億円増加</mark>し122億円を計上。

							(億円
		YMFGi	車結	3行合算			
			前年		前年		
L			同期比		同期比	山口+北九州	もみじ
=	コア業務粗利益	622	34	599	35	△21	56
	資金利益	476	∆34	478	∆33	△18	△15
	<b>役務取引等利益</b>	66	Δ4	46	Δ2	Δ0	Δ1
	その他業務利益	73	69	73	69	Δ3	73
経費(Δ) (除<臨時処理分)		440	11	402	14	12	2
	人件費(△)	-	-	180	Δ3	0	∆3
	物件費(Δ)	-	-	199	18	12	6
=	コア業務純益	182	22	196	20	∆34	54
弁	圣常利益	191	23	200	16	△22	38
5	中間純利益	122	34	137	26	Δ11	37
Ŀ	5信費用	10	∆30	9	∆30	△43	12

1	資金利	益の	内訳	(3行	合算)	

(億円)

			24/9期	前年同期比
資金利益		利益	478	∆33
	資	<b>【金運用収益</b>	522	△44
		貸出金利息	429	△25
		有価証券利息	85	∆15
	資	<b>【金調達費用</b>	43	Δ10
		預金利息	35	Δ12
	7	の他	0	Δ0

貸出債権証券化に伴う譲渡益を計上 したことを主因として、その他業務利益 が前年同期比73億円増加。

### 連単差

3行合算中間純利益	137億円
のれん償却費(もみじ銀行)	△24億円
FG連結調整等	12億円
子銀行連結調整	△3億円
YMFG連結純利益	122億円



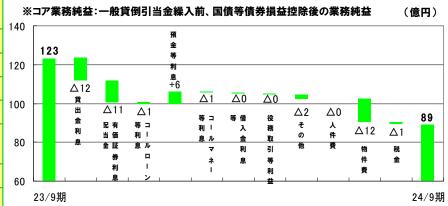
## 山口銀行・北九州銀行の平成24年度中間決算概要

- ◆資金運用収益の減少や営業経費(物件費)の増加などにより、コア業務純益は前年同期比34億円減少。
- ◆国債等債券損益増加や与信費用減少はあるものの、株式等減損処理などにより中間純利益は前年同期比11億円減少。

		山口+:	北九州
		24/9期	前年同期比
経常	収益	461	△19
業務	粗利益	389	6
	資金利益	307	∆18
	役務取引等利益	32	Δ0
	その他業務利益 (うち国債等債券損益)	49 (51)	23 (27)
経費	(除く臨時処理分)(△)	248	12
	うち人件費(Δ)	110	0
	うち物件費(△)	125	12
一般	貸倒引当金繰入額(△)	Δ20 Δ25	
業務	純益	161 18	
	コア業務純益	89	∆34
臨時	損益	△63	∆41
3	ち不良債権処理額(△)	11	∆18
7	ち株式等関係損益	△50	△53
経常	利益	97	△22
特別	損益	Δ0	2
税引	前中間純利益	97	△20
中間	純利益	59	∆11
	関係費用 裁の額は、単位土港も切除で	Δ9	△43

	(億円)
山口 銀行	北九州 銀行
24/9期	24/9期
404	67
335	53
257	49
29	3
48 (51)	0 (Δ0)
204	44
89	20
103	21
-	-
131	9
80	9
△37	△5
0	-
△39	Δ11
93	3
Δ0	Δ0
93	3
57	2
Δ4	△5

### コア業務純益 89億円(前年同期比 △34億円) ※377業務純益:一般貸倒引当会繰入前 国債等債券損益物除後の業務純益 (億円



### 有価証券関係損益 0億円(前

### 0億円(前年同期比 △26億円)

(億円)	24/9期	前年同期比
国債等債券損益	51	27
売 却 損 益	52	20
償 還 損 益	Δ0	7
株式等損益	△50	△53
売 却 損 益	0	Δ3
償却額(減損処理)	51	50

株式等減損を 国債等損益で カバー

### 与信関係費用

### △9億円(前年同期比 △43億円)

(億円)	24/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	Δ20	△25
個別貸倒引当金繰入額	10	∆18





## もみじ銀行の平成24年度中間決算概要

- ◆貸出債権の証券化に伴う譲渡益を計上したことを主因として、コア業務純益は前年同期比54億円増加。
- ▶与信費用の増加などあるものの、コア業務純益の増加が大きく、中間純利益は前年同期比37億円増加。

60

		(億円)
	24/9期	
	24/9期	前年同期比
経常収益	336	59
業務粗利益	300	67
資金利益	171	△15
役務取引等利益	14	Δ1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	114 (39)	84 (10)
経費(除<臨時処理分)(△)	153	2
うち人件費(△)	70	Δ3
うち物件費(△)	74	6
一般貸倒引当金繰入額(△)	Δ8	△4
業務純益	155	69
コア業務純益	107	54
臨時損益	△51	△30
うち不良債権処理額(△)	27	16
うち株式等関係損益	∆18	∆13
経常利益	103	38
特別損益	Δ0	0
税引前中間純利益	103	38
中間純利益	78	37
与信関係費用	18	12

#### 107億円(前年同期比 +54億円) コア業務純益



利

 $\Delta 2$ 

20 23/9期 24/9期

 $\Delta 0$ 

+0

### 有価証券関係損益 20億円(前年同期比 △2億円)

(億円)	24/9期	前年同期比
国 債 等 債 券 損 益	39	10
売 却 損 益	40	12
償 還 損 益	Δ1	Δ1
株式等損益	△18	△13
一売 却 損 益	Δ3	Δ3
償 却 額 (減 損 処 理)	14	9

株式等減損を 国債等損益で カバー

貸出債権証券化

による譲渡益等

### 与信関係費用

△14

Δ5

### 18億円(前年同期比 +12億円)

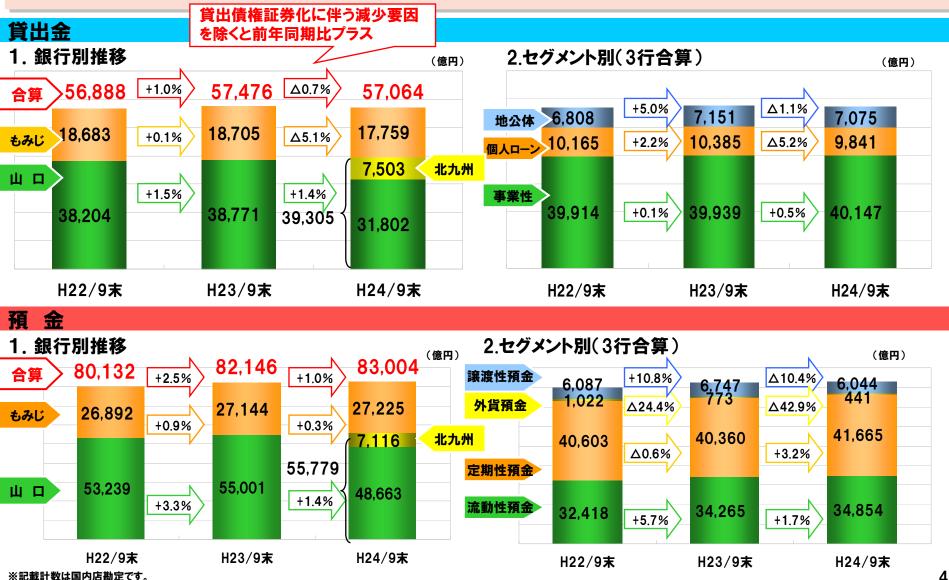
(億円)	24/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	Δ8	Δ4
個別貸倒引当金繰入額	25	16



## 預貸金の状況

◆貸出金:住宅ローン債権証券化に伴う残高減少要因はあるものの、事業性融資は順調に残高が増加。

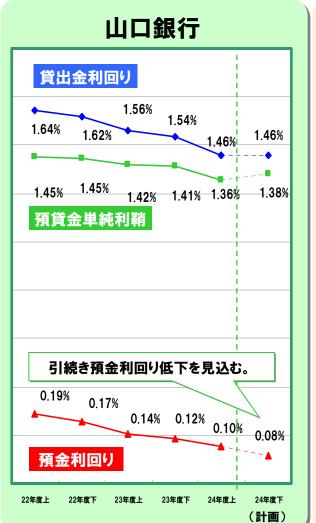
◆預金:高利回りの譲渡性預金は残高を抑制したが、預金残高は前年同期比858億円の増加。

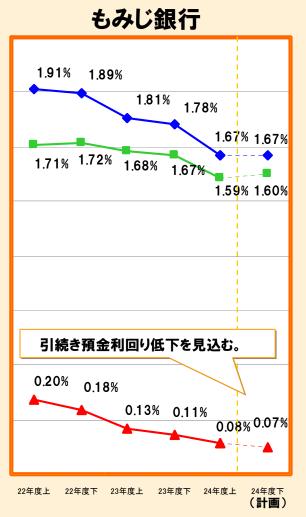


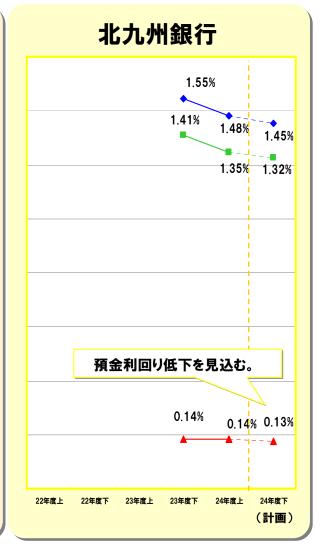


## 期中平均利回りの推移

- ◆貸出金利回りは、中小企業を主体とした小口貸出の積上げなどにより、横這い推移を見込む。
- ◆預金利回りについては、引続き、高利回りの記念定期預金の満期到来などによる低下を見込む。



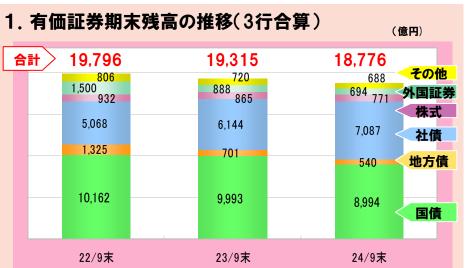


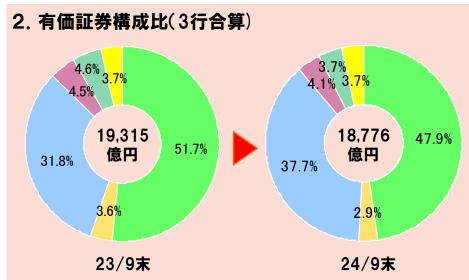


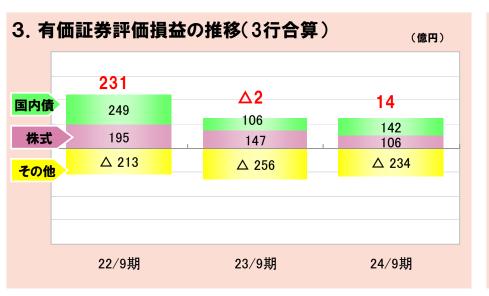


## 有価証券残高・評価損益の状況

- ◆株式評価益は減少したものの債券評価益増加などにより、有価証券評価益は前年同期比17億円増加。
- ◆国内債券は、金利動向に応じて機動的な売買を実施し売却益を確保。外国債券は残高積上げを抑制。





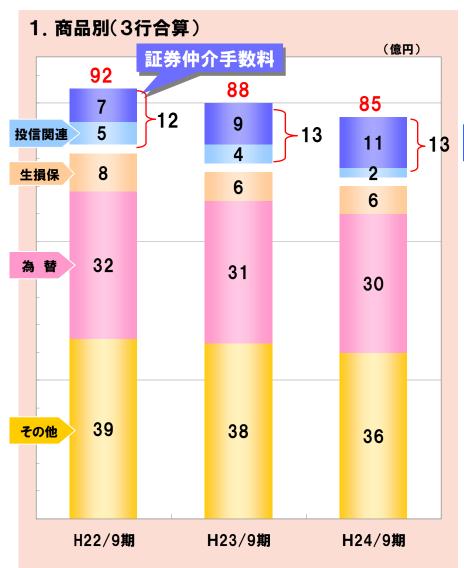


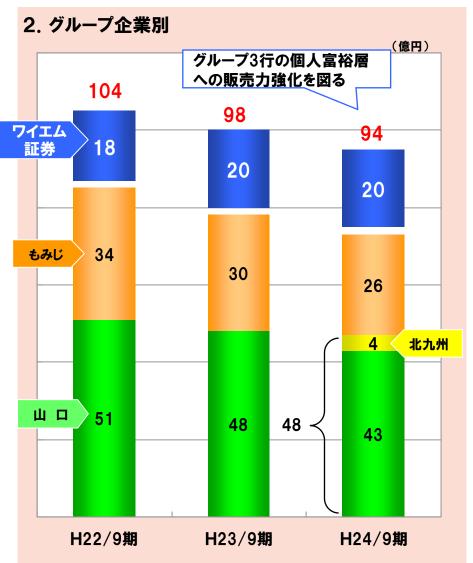
保有債券の	デュレーション	•	(年
山口銀行	23/9期	24/9期	前年同期比
国内債	4.98	4.53	△0.45
外国証券	3.31	3.01	Δ0.30
もみじ銀行	23/9期	24/9期	前年同期比
国内債	4.27	4.44	+0.17
外国証券	3.70	3.22	Δ0.48
北九州銀行	23/9期	24/9期	前年同期比
国内債	-	4.63	-
外国証券	-	_	_



## YMFG 役務収益の推移

### ◆証券仲介手数料およびワイエム証券販売手数料がグループ役務収益に大きく貢献。

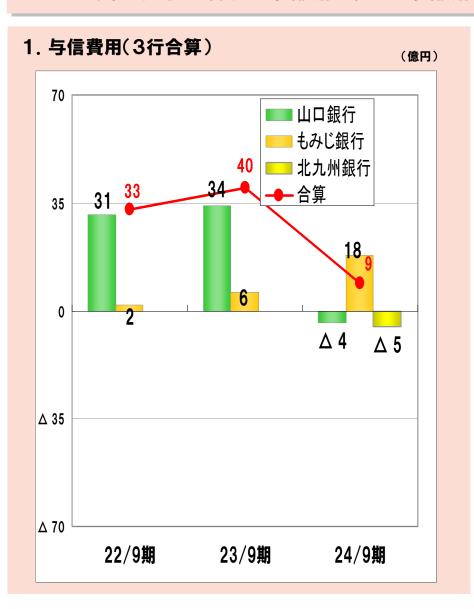


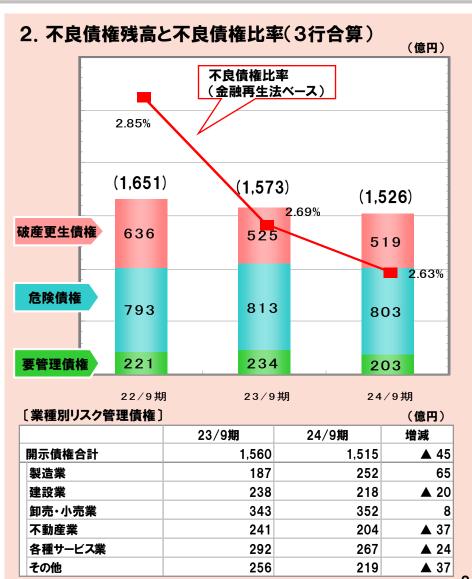




## 信用コストと不良債権の状況

◆与信費用(3行合算)、不良債権残高・不良債権比率(3行合算)は、前年同期比減少。

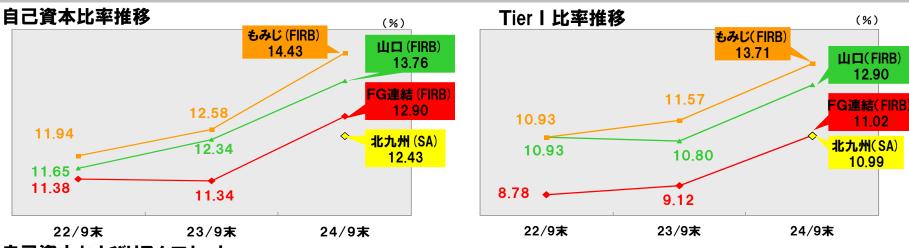






### 自己資本比率の状況

◆連結自己資本比率は、利益の積上げや基礎的内部格付手法(FIRB)の採用により12.90%に上昇(前年同期比+1.56%)。Tier I 比率は、11.02%に上昇(前年同期比+1.90%)。



### 自己資本およびリスクアセット

(億円)

					( ) ( ) ( )				
		FG連結		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
		(第一基準)	前年同期比	(国際統一基準)	前年同期比	(国内基準)	前年同期比	(国内基準)	前年同期比
自己	資本額	4,919	△29	2,776	△757	1,902	Δ11	790	_
	うちTier I	4,205	226	2,602	△490	1,807	49	698	_
	うちTier II	762	△256	182	△268	96	△59	91	_
	控除項目(△)	49	Δ0	8	Δ1	2	1	_	_
リスクアセット		38,134	△5,484	20,166	△8,461	13,178	Δ2,021	6,357	_
自己資本比率		12.90%	1.56%	13.76%	1.42%	14.43%	1.85%	12.43%	_

### 基礎的内部格付手法の採用

- ・金融庁の承認を受け、平成24年9月期より採用
- ・山口FGは、地方銀行を中核とした銀行持株会社では初
- ・もみじ銀行は第二地方銀行での採用は初

### 基礎的内部格付手法の効果

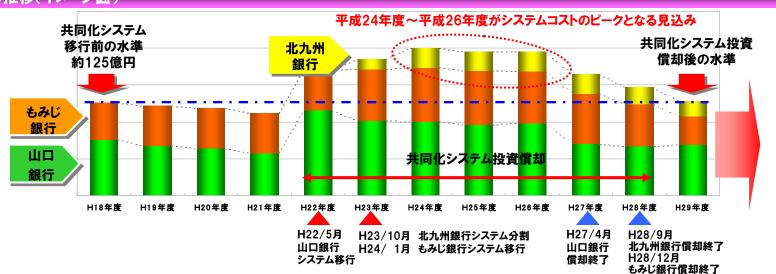
- ・信用リスクを適切に反映させ、信用リスク管理態勢の一層の高度化
- ・銀行としての健全性を向上させ、地域社会における金融仲介機能の充実



## YMFG 経費の推移と見通し

- ◆北九州銀行、もみじ銀行のシステム償却本格開始により、経費は前期比増加となるも通期ではほぼ前年並みを見込む。
- ◆システム共同化、北九州銀行開業に伴うシステム移行コストは今年度から3年間ピークを迎える以降、漸減見込。
- ◆3行のシステム·事務共通化の効果を最大限に活かし、営業部門への人員再配置などにより、トップライン収益を増強させる。







## 平成25年3月期の業績予想

### ◆平成24年5月に公表した業績予想から、コア業務純益+15億円、当期利益+45億円上方修正

### 1. 山口FG連結業績予想

/ 崔 / · / · / · / · / · / · / · / · / ·	YMFG連結			
(単位:億円)	通期予想	24/3比	当初計画比	
コア業務粗利益	1,230	60	Δ5	
コア業務純益	325	48	15	
経常利益	405	41	40	
当期利益	245	66	45	
ROE	5.2%	1.4%	1.0%	
総資産	95,000	3,846	0	
自己資本比率	11.8%	0.0%	△0.3%	

### 2. 3行合算業績予想

(単位:億円)	3 行 合 算			
	通期予想	24/3比		
コア業務粗利益	1,183	6 2		
資 金 収 支	980	Δ 28		
役務収支	117	1 4		
経 費	8 1 1	1		
人 件 費	3 5 8	Δ 10		
物 件 費	414	1 8		
コア業務純益	370	6 1		
経 常 利 益	430	3 7		
当期利益	275	6 0		
与 信 費 用	Δ 6	Δ 11		

### 3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行+北	九州銀行	山口銀行	北九州銀行
	通期予想	24/3比	通期予想	通期予想
コア業務粗利益	709	Δ 10	600	109
資 金 収 支	6 2 4	Δ 19	5 2 4	100
役 務 収 支	7 7	8	7 1	7
経費(Δ)	499	11	407	9 2
人件費(△)	2 1 5	Δ 4	175	4 0
物件費(△)	260	1 5	2 1 3	4 6
コア業務純益	209	Δ 21	193	1 6
経 常 利 益	260	Δ 20	2 4 5	1 5
当期利益	160	1 9	1 5 0	10
与 信 費 用	Δ 20	Δ 31	Δ 9	Δ 11

もみじ銀 行			
通 期 予 想	24/3比		
474	7 2		
3 5 6	Δ 9		
4 0	6		
3 1 2	Δ 10		
1 4 3	Δ 6		
154	3		
161	8 2		
170	5 7		
115	4 1		
14	2 0		



## 配当実績・計画

- ◆24年3月期第2四半期末の普通配当5.0円と記念配当1.0円、合計6.0円を維持
- ◆24年度は、<mark>2年連続して増配</mark>となる年間12.0円の配当を予定

